

「福岡市営渡船（志賀・博多間）新船製造」に係る提案競技 質問と回答

No.	回答日	質問事項	質問内容	回答
1	5月16日	(1) 基本性能、⑪航海速力の条件で40%載荷状態及び定員80kg/人について	40%載荷状態の定員は150名か80名かどちらですか？定員の重量はJG規則では、75kg/人となっていますのでそれで考えます。	40%載荷状態の旅客定員は、150名（平水区域分）でお考え下さい。定員の重量は、要求水準書上は80kg/人としていましたが、船員定員4人分は80kg/人、旅客定員分は75kg/人を条件とします。
2	5月16日	(2) 航海性能③「安全最小定員2名で運航できる条件を満たすこと」について	船員が2名となった場合でも安全に運航できる条件の基準がこちらでは分かりかねるのですが、前例等はいかがでしょうか？	「船員法の定員規制について（平成17年3月25日国海働第262号改正）」に、安全最小定員を甲板部定員1名、機関部定員1名とする条件が示されています。甲板部定員1名は、操船中に自動操舵装置を使用しながら見張りを行いますので、操舵室から360度視界を確保する必要があります。十分な広さの窓や監視カメラによる視界確保をご検討下さい。
3	5月16日	(5) 係船・乗降性能、志賀島港の栈橋高さについて	志賀島の栈橋乾舷は800mmとなっていますが、200mmの架台があるということで、1000mmという認識でよろしいでしょうか？とすると、博多及び西戸崎も1000mmなので、3港すべて同じという認識で良いですか？	志賀島の栈橋乾舷は、栈橋架台がある部分は+200mmで1000mmとなりますので、栈橋架台上に乗船タラップを降ろす場合は、博多及び西戸崎と同じ栈橋乾舷とみなせます。 ただし、志賀島の栈橋架台は栈橋全面をカバーする大きさではありません。栈橋架台上に乗船タラップが降ろせる部分の幅は3mですので、この点を踏まえ、着岸位置や乗船タラップの配置をご検討下さい。
4	5月16日	(5) 係船・乗降性能④係船金物について	数量が具体的な数字で書いてありますが、係船要領の検討次第ではボラード等増やす必要が出てくるのではないかと考えられます。数の変更は可能でしょうか？	要求水準書には、運航中の係船作業時に最低限必要と思われる片舷分の係船金物の種類と数量を示したものであり、必要に応じて追加等の変更は可能です。新船の係船金物の詳細は、契約後の設計段階における承諾図にて協議・確認する流れで進めますが、変更があっても契約金額内でご対応いただくものとなります。 なお、提案時点で係船金物を追加する場合は、その内容を要目表に記載し、追加分は見積に含むものとしてご対応下さい。